

工 事 成 績 評 定 項 目 別 評 定 表 (技 術 力 の 発 揮)

第3号様式(第3条関係)

【記入方法】該当する項目の□に「1」を記入し、その具体的事由等を右欄に記入する。

	担当 監督員	主任 監督員	技術力の発揮キーワード	左記チェック項目の具体的事由等	担当評定点	係長評定点
既設構造物(既存施設) 固有の難しさへの対応	□	□	1. 既設構造物(既存施設)の補強、撤去等の特殊な工事 2. 既設設備の困難な移設、切廻し、盛替え等を伴う工事			
技術固有の 難しさへの対応	□	□	3. 工種及び工法の特異性 4. 新工法(機器類を含む。)及び新材料を適用した工事			
厳しい自然条件 地盤条件への対応	□	□	5. 湧水の発生、地下水への影響(地盤掘削時) 6. 軟弱地盤、支持地盤の状況 7. 工事用道路・作業スペース等の制約 8. 雨・雪・風・気温等の影響			
厳しい周辺環境等 社会条件への対応	□	□	9. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 10. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 11. 周辺住民等に対する騒音・振動等の配慮 12. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 13. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約 14. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 15. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 16. 制約の多い、稼働中の施設における工事			
施工現場での対応等	□	□	17. 災害等での臨機の処置 18. 施工状況(条件)の変化に対応した工法等の自発的提案と対応等 19. 対象施設を利用しながらの工事における、施設運営への臨機での対応 20. 既存部分との取合いの処置等 21. 狭隘部や微小な施工部位等での困難を伴う工事での円滑な施工			
その他	□	□	22. その他()			

- ・「基本的な技術力と成果の評価」で評価されなかった受注者の優れた技術力等を評価する。
- ・「創意工夫と熱意」との二重評価は行わない。
- ・1項目1点を目安とする。ただし、内容によっては2点とすることができる。
- ・「技術力の発揮」、「創意工夫」、「社会的貢献」それぞれの評定点を合計し、その合計を最大5点とする。